バレーボールの基本的指導過程作成（2021\_0517\_飛騨市）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 運動習熟の過程 | | | それらしくできる　　　　　　　　　 　　　　　できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　うまくできる |
| 対象の学年 | | | １年　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３年 |
| 意識の広がり | | | ボールの動き　　場所　　　　　　　　　　　　　味方の動き　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　相手の動き |
| ゲームの様相 | | | 相手がコートの空いたスペースを狙って返す  　相手コートの空いたスペースを狙ったり強く打ち込んだりする  みんなでパスをつないで返す  とにかく相手コートに返す |
| ねらい | | | パスを３回つないで、相手コートの空いたスペースを狙ったり、強く打ったりして攻めることができる  パスを３回つないで、相手コートの空いたスペースを狙って攻めることができる。  仲間とパスをつないで、相手コートにボールを返すことができる。 |
| 練習方法 | | | 対人パス（１対１、ネット越し）　　　　　　　対人パス（１対１、ネット越し）　　　　　　　　　　スパイク練習（投げ上げ、トス）  円陣パス　　　　　　　　　　　　　　　　　　円陣パス、３対３　　　　　　　　　　　　　　　　　３対３ |
| ルール | | | ４回以上つないでもよい　　　　　　　　　　　　　３回以内で返球　　　　　　　　　　　　　　　　３回以内で返球  縦６ｍ×横９ｍのコート　　　　　　　　　　　　　縦９ｍ×横９ｍ　　　　　　　　　　　　　　　　縦９ｍ×横９ｍ |
| 知識、技能 | 戦術 | | 相手コートの後方やネット際などの空きやすいスペースを狙う  後衛に来たら、前衛につないでから返す  セッターにつないで３本目で強く打ち込む  持ち場を決めて分担して守る |
| ボール  操作 | On  the  ball | オーバーハンドパス（三角形、おでこの上）　　　　相手コート後方まで返す　　　　　　　　　　　スパイク  アンダーハンドパス（膝を使う）　　　　　　　　　ネット際のボール操作　　　　　　　　　　　　ブロック  パスする相手にへそを向ける　　　　　　　　　　　セッターにつなぐ |
| ボールをつなぐ動き | Off  The  ball | ボールにへそを向ける　　　　　　　　　　相手が返して来る場所を予想　　　　　　　　　セッターにボールが上がったら助走の準備  動ける姿勢で構える　　　　　　　　　スペースを埋めるためのポジション確認　　　　　　相手がスパイクを打ちそうならブロック準備  定位置に戻る |
| 思考力、判断力、表現力等 | 攻防などの  課題の発見 | On  the  ball | １人で返すかつなぐか判断　　　　　　　相手コートのどこに返すとよいか判断　　　　　　　　　スパイクかスペースを狙うかの判断  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　相手コートを見る |
| Off  The  ball | ボールを操作する見方に寄る　　　　セッターに上がりそうなら、返す準備をする　　　　　　　相手がどう返してくるか予想する  ラリーの中で、味方の動きに合わせてスペースを埋める |
| 自己の考えたことを他者に伝える | | 「どんな時に、どこに動いて、何をするか」という視点で個人課題を立てる  作戦板のマグネットを操作する  作戦に沿った個人課題を立てる　個人課題を判断して立てる　役割に応じた個人課題を立てる　個人課題を修正したり認め合ったりする  （「思考の流れ」を基に）（「様相の高まり表」を基に）  できない・分からないことを聞く |
| 学びに向かう力，人間性等 | １人１人の違いに応じたプレイを認めようとする | | 認め、励ましの声をかける  個人課題を共有する　　　　　個人課題の達成を認め合う  成果を要求したり応えたりする |
| 仲間の学習を援助しようとする | | うまくできない仲間に困っていることを尋ねる  　　　　　　　　　　　　　うまくできない仲間の気持ちに寄り添った関わり  うまくできない仲間の課題に対し、グループ全員で解決に向かう |